

中部圏と関西圏を結ぶ物流の大動脈

名阪国道

50年を経て、これまでのストック効果と
そして、これからも使い続けるために

名阪国道開通50周年

千日道路もはや半世紀



- 道路ふれあい月間 出発式
- 旧行政関係者懇談会
- 50周年記念パネル展
- 名阪国道沿線首長会議
- 車座名阪国道トーク
- 名阪・北勢会による記念石碑の寄贈
- 針T・R・SにおけるPR・啓発活動-奈良
- 特車(危険物)取締り-奈良
- 年末の交通安全キャンペーン
- 沿線企業によるキャンペーン
- 記念シンポジウム



道路ふれあい月間 出発式



亀山ハイウェイ
オアシス

パネル展

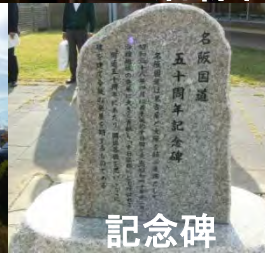
針T・R・S



沿線首長会議



横断幕、のぼりによる広報活動



記念碑



車座トーク

道路ふれあい月間出発式(2015年8月4日)

○道路ふれあい月間 8月1日～31日

道路は、安全と快適な生活を支える最も身近な社会基盤であり、地域の発展に大きく関わっています。そのことを**多くの方に再認識をして頂くことを目的とし、道路ふれあい月間**には、様々な**啓発活動**が行われました。

○出発式 8月4日

伊賀市柘植町にある道の駅「いが」で出発式が行われました。伊賀市副市長、国交省北勢国道事務所長、三重県伊賀建設事務所長の挨拶の後、伊賀市のマスコットキャラクター「にん太」と「しのぶ」や関係者に見守られる中、警察車両などがパトロールに向け出発しました。そして、関係者らが、**道路の正しい利用を呼び掛けるチラシ**を配るとともに、**清掃活動**として「**ゴミ拾い**」を行いました。

※8/5伊賀上野ケーブルテレビ「i-cityニュース」にて、取り上げられました。



旧行政関係者懇談会(2015年8月26日)

(1/2)

名阪国道建設時に関わる様々な出来事について**当時の行政関係者から今しか伝えられない苦労話やエピソード**などを回顧、懇談していただく企画



①名阪国道のお話はいつ頃ききましたか？

★) 昭和38年4月13日に、当時の名阪国道事務所の林調査課長から伺いました。

■) 昭和29年に入所後、担当していた28災害の復興事業が完結してから、お聞きしました。

②どのような体制で、どのような意気込みで実施されましたか？

★) 当時の住友所長と同じように、**この事業に命をかける気持ちで取り組みました。**

■) 当時は、現在のような専門部署が無かった為、**市役所の土木課で職員一同使命感を持って行いました。**

③用地についてはどのように進めましたか？

★) 千日で道路を完成させる為に、**慎重に用地買収を進めました。**



★元上野市職員
福田隆弥さん(90歳)

- ・元奈良県庁職員
- ・その後上野市に勤務
- ・国道の昇格運動に参画



■元上野市職員
中出由一さん(79歳)

- ・元上野市職員
- ・28災害(洪水)の復興に従事
- ・その後名阪国道建設事業に参画

■)事業に従事する者として、建設的な使命感を持ち取り組みました。新設する道路と工事用の道路の両方の用地買収と整備を千日という工期内で納める必要があったため、**粘り強く地権者との交渉を進めました。**

④名阪国道の計画と現在の状況とのイメージや役割と相違ありますか？

★)官民一体となった大事業でした。当初計画での危険箇所は要望書を出し、対応して頂きましたので、当初計画よりもより安全に通行できるようになったのではないかと思います。

■)ある程度の予測はしていたのですが、**予測よりも経済効果や企業の誘致などに大きく寄与してくれた**と感じています。

⑤一番苦労されたことは？

★)名阪国道を有料道路にするよう三重県知事が大臣に要望を出されたことです。無料の国道ということで地元間との調整が済んでいたからです。**工事期間中に当時の大臣から無料道路の確約を頂くことに苦労しました。**

■)「用地交渉」と「久米山の文化財」の対応で苦労しました。

⑥工事用残土、搬入道路の整備についてどのようにされましたか？

★)土砂は基本すべて使用しましたが、一部の土砂はダム事務所と交渉し**ダムの用地内に受け入れてもらいました。**また、**搬入道路の用地交渉も非常に大変で苦労しました。**

■)土砂量はあらかじめ排出量を計算していたので、全て使用しました。工事用道路は、当時市の幹線道路であった銀座通りを大量の工事用車両が通行することは問題があるため、小田地区に建設しました。

小田地区は、かつて洪水被害に何度もあった土地でしたので、輪中堤の縁に沿って工事道路を建設しました。現在もその道路は、多くの人に利用されています。

⑦開通式前夜及び開通式当時の様子について教えてください。

★)開通式前夜、アクセス道路の一部が完成していなかった為、地元業者に協力を要請し、なんとか通行できるように整備しました。式当日は、大臣や初代の住友所長などの来賓を含め700人の招待者に来て頂き盛大に執り行われました。**初代住友所長の「明日より家庭に帰ってよき父となります。」の挨拶が印象に残っています。**

■)行政、市民、工事関係者、各団体の方々が道に並んで、すごい光景だったのを覚えています。

⑧4車線化の時期(昭和55年)及び竣工式の様子はいかがでしたか？

★)当時、道路公団の住友所長もお招きして開催しました。道路公団の前田氏の「この地域の将来に夢を持って下さい。」という、挨拶が記憶に残っています。

■)名阪国道開通時には4車線化を想定した用地買収を既に済ませていた為、特に早いとは思いませんでした。

⑨現在の名阪国道の沿線状況や交通量は当時想像できましたか？

★)当時は計画が2万台だった為、**現在の状況(6万台)は想像できません**でした。

■)当時からは想像できませんでした。

⑩名阪国道は東西に延びていますが、南北の連携をどのようにお考えですか？

★)非常に重要で**南北の道路整備に尽力**して欲しいと考えています。

■)防災面や事故などの対応、救助の際にも重要な道路となってくると思います。又、新名神高速道路や三重南北縦貫道路といった他の道路と連携をとりつつ、地域の活性化を図るためにも、**国家戦略的に南北を結ぶ道路整備に取り組んで頂きたい**と考えています。

⑪名阪国道にはどのようになって貰いたいですか？

★)後世へと伝え残していくために、**現状を維持しつつ土木遺産になって欲しい**です。

■)やはり当時は建設に苦労したので愛着があります。利用者には「**良い道だ**」と感じて頂き、大事にして頂きたいです。

■ 開通50周年記念パネル展(2015年8月4日～11月27日) (1/2)

■ 開催場所及び設置期間

	開催場所	期間
1	道の駅「いが」	H27. 8. 4～H27. 11. 27
2	伊賀市ハイトピア5F	H27. 9. 16～H27. 9. 24
3	いがまち公民館	H27. 9. 24～H27. 9. 30
4	亀山ハイウェイオアシス	H27. 9. 30～H27. 10. 18
5	鈴鹿市役所	H27. 10. 19～H27. 10. 30
6	三重県鈴鹿庁舎	H27. 11. 2～H27. 11. 13
7	三重県伊賀庁舎	H27. 11. 16～H27. 11. 20
8	関ドライブイン	H27. 10. 1～H27. 12. 23
9	上野ドライブイン	H27. 10. 30～H27. 12. 23
10	成和西小学校	H27. 11. 1

※関ドラ、上野ドラは人数カウントは実施していません。

■ 主な内容

- ①名阪国道に関する代表パネルを展示
- ②千日道路の建設状況の10分ビデオの放映
- ③パネル展示や名阪国道に対するアンケートの実施

■ 来場数

30,905人
(H27.11.20現在)

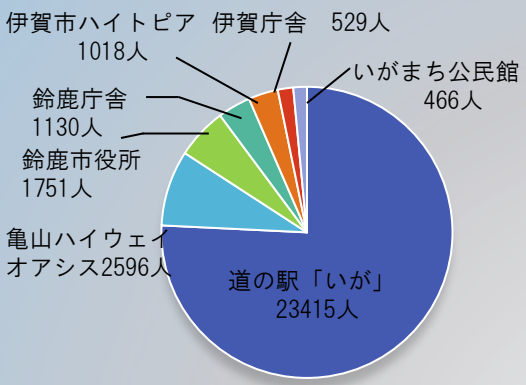


■ 代表パネル

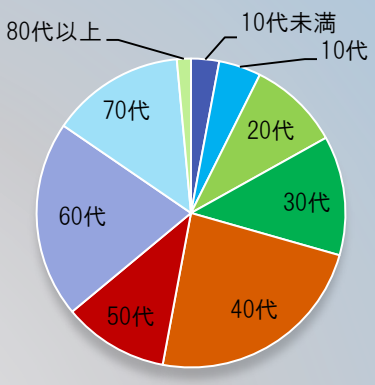
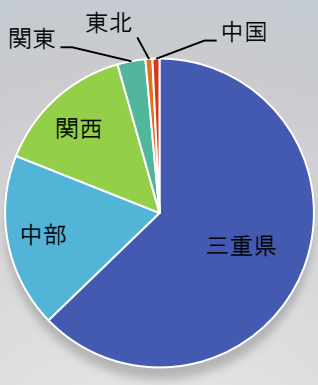


■開通50周年記念パネル展(2015年8月4日～11月27日) (2/2)

■来場者数



■アンケート結果



開催場所別来場者数

住まい

年齢

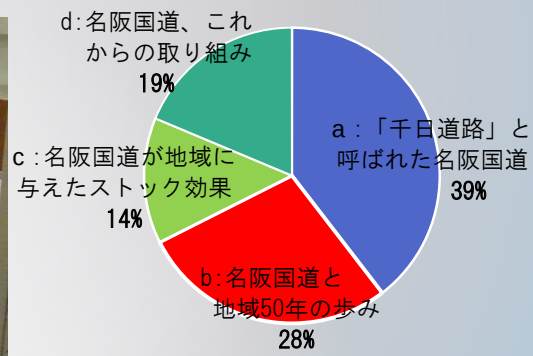
※来場者数は、8月4日～11月20までを集計しています。



道の駅「いが」アンケートボックス設置状況



ハイウェイオアシス アンケートボックス設置状況



人気パネル

■パネル展に関するご意見

ご意見	10分ビデオが興味深く、当時の様子もよくわかり良かった。
	歴史を知れてよかった。千日で出来たんだ凄い。
	すごくいいと思います。簡素だが、歴史、苦勞が良く分かる。地域の人の協力が大きい。
	名阪国道の歴史についてもっと知りたいと思った。
要望等	50年が視覚的にダイレクトに分かる内容で理解し易く、また、気がついた時に見ようと思った。
	小冊子にして有償配布されたらいかがですか。通勤等に走ったので思い出の道路。
	もっといろいろな場所で展示して欲しい。
	DVDの内容を複数箇所放映しても良いのでは？

■名阪国道に関するご意見

ご意見	大変ありがたい道路です。無料が最大の魅力です。
	車速の制限とてもあぶない。
	30年近く利用させて貰っている(鈴鹿のアクセスはBEST)これからも安全に維持管理して下さい。
	無料道路ありがとう。
	道路がガタガタです。静穏化を望みます。
	休みの日の工事は絶対やめてほしい。
	毎月、管内も利用するので有難い。
	無料の分、よく混んでいるし道は凸凹だけどなくては困ります。
	大雨時に通行止めにならない対策、台風の時に峠を越えられなくて困った。
	無料、自動車専用、信号無のためとても便利。高速道路と同じ。
要望等	大型の通行が多い、速度超過の車が多いことが気になります。(道路自体の問題ではないが。)
	事故発生ワースト3国道と聞いたこともあるので少し怖いです。
	速度を10km/hアップして欲しい。80km/hでも良いと思います。
	カーブで手前に大きな注意表示と全線70km/h速度にしてほしい。60km/hでは他県の車では危険である。
	台数も増える一方で、安全確保のため改修工事等も今後お願いします。
	片側3車線になればいいな。名阪名神連絡道の早期完成を望みます。
	渋滞の原因、休日の工事(道路閉鎖)は絶対やめて。
	奈良側のカーブの連続が少し怖いですが、除々に改善され、もっと便利に安全で通行できることを期待します。

○平成27年10月23日(金)、名阪国道開通50周年記念事業の一環として、名阪国道開通50周年記念事業実行委員会主催で、名阪国道の沿線首長による「名阪国道沿線首長会議」が開催されました。

○伊賀市岡本市長をコーディネーターとして、名阪国道の速度アップ・安全対策の報告、名阪国道についての懇談が行われ、沿道エリアの各課題の抽出や連携・協力の必要性を話合うことが出来、有意義な会議となりました。

討論メンバー



伊賀市北山委員長

三重県梅谷課長

三重県警浦川隊長

亀山市櫻井市長

伊賀市岡本市長

北勢国道堀江所長

奈良国道若尾所長

山添村窪田村長

天理市藤井副市長

奈良市山本部長

奈良県警田中副隊長

奈良県森本政策官

テーマ

■名阪国道の速度アップ・安全対策の報告

■名阪国道について懇談
①名阪国道沿線自治体の道路ストック効果について

②名阪国道の各自治体における課題

③今後の名阪国道への期待、安全対策及び防災対策について

概要

◇日時:平成27年10月23日(金曜日) 13:30～ 15:00
◇場所:上野フレックスホテル
◇主催者:名阪国道開通50周年記念事業実行委員会
◇出席者等:
(国交省)北勢国道堀江所長、奈良国道若尾所長
(県 警)三重県警浦川隊長、奈良県警田中副隊長
(自治体)三重県梅谷課長、奈良県森本道路政策官、
亀山市櫻井市長、奈良市山本部長、天理市藤井副市長、
山添村窪田村長、伊賀市岡本市長、伊賀市北山委員長

①沿線自治体の道路ストック効果

名阪国道によって、液晶シャープを始め、新たな企業が加わるなど、**地域産業に大きく貢献**しています。また、**東海道の宿場町で重要伝統的建造物群保存地区で、観光客が年々増加**しており、**観光活性化に繋がっています**。

②名阪国道における課題

事故対策に尽力頂いていますが**依然として事故発生率が高い**ことです。「命の道ではなく命がけの道」となっています。**危険箇所(亀山ICランプ等のカーブ区間)の早期解消が必要**と考えます。また、**降雪や連続雨量200mm以上の降雨によって孤立する地域があります。回数が年々増加してきているため、対応が必要です**。

③今後の期待、安全対策及び防災対策

名阪国道が止まった場合の**地域間のネットワークを強化し、次の世代に伝えることが重要**と思います。



亀山市櫻井市長

①沿線自治体の道路ストック効果

奈良市と他地域とのアクセスは、北は国道163号線木津川沿いと南は名阪国道と、無くてはならない道路です。特に、**東部山間地域は、名阪国道が無ければ、農林業の発展や、大阪までのアクセスは難しかった**と思います。大河ドラマで取り上げられた柳生地域や月ヶ瀬地域等の**観光地も名阪国道によって発展**してきました。今後、針テラスについては、**情報発信の場として活用して行きたい**と考えます。

②名阪国道における課題

名阪国道における課題は、**降雪による通行止めによって、国道側への大型車両が流入し立ち往生する状況があり、緩和策が必要**です。

③今後の期待、安全対策及び防災対策

今後、**リニアが奈良市の近くに通る予定**です。**観光も増え、アクセス道路として、ますます活躍して頂けると考えます**。



奈良市山本部長

①沿線自治体の道路ストック効果

産業面では、**県内最大敷地面積の企業進出により、地元の雇用効果が生まれて**います。また、**天理市は天理教本部**があります。26日～3日間の月次祭が実施、**約半数近くが名阪国道を利用**しており、**ストック効果は大きい**と考えます。

②名阪国道における課題

Ωカーブの事故対策、福住ICの標高500mの降雪の影響による通行止めの発生です。ストック効果の高い生活に必要な道であったり、物流に大事な道であるため、通行止めになると大変な影響が出てきます。**通行止めによって福住ICから天理市内へ大型車両が流入し、市民生活に影響が出ます**。

③今後の期待、安全対策及び防災対策

災害時の緊急道路として**重要性が高くΩカーブの改良や安全性の充実に期待**します。



天理市藤井副市長

①沿線自治体の道路ストック効果

山添村には3つのインターチェンジがあります。特に五月橋ICは、旧25号の接続のための改良が行われています。村民にとって、伊賀市、名張市、天理市、奈良市への移動が良く、生活圏道路として十分なストック効果を果たして頂いています。

②名阪国道における課題

路面の凹凸が多いことです。路面の凹凸解消することで事故が減少すると考えています。積雪の場合の通行止めについては、孤立集落を無くすることが重要と考えます。

③今後の期待、安全対策及び防災対策

沿線地域のネットワークを充実させて、会議の場を設け、情報交換をして行きたいと考えます。



山添村 窪田 政倫
山添村窪田村長

①沿線自治体の道路ストック効果

名阪国道によって、企業が活性化するとともに、観光の増加に効果を発揮しています。

②名阪国道における課題

どのような気候でも通行を確保する。ストック効果があるにも関わらず、利用出来ず孤立集落が発生するような事態は避けるべきと考えます。また、企業は、湾岸地域からの内陸部への移動希望が強くなっており、道路機能としての安定性を確保する必要があります。

東西の交通は充実しますが、旧25号の整備の強化と名神と名阪を結ぶ連絡道の推進することにより、中部圏、関西圏を通じたりダンダンシーと、ストック効果の増強を図る必要があります。

③今後の期待、安全対策及び防災対策

市町村が一つに結ばれていく事が、地域の力を強め、安心、安全の確保という意味でも、沿線の利用者にとっても重要と考えます。



伊賀市岡本市長

①ストックの内容

亀山IC～五月橋IC間の41.6kmが対象区間で、19のインターチェンジと橋梁167橋、トンネル2箇所分のストックがあります。

②安全対策の報告

全国的にみても名阪国道の交通事故発生率は高い状況です。分離、合流点の追突事故が最も多く発生しています。分離、合流長を延伸する対策を順次実施しています。併せて、登坂車線の延伸や防護柵の更新を行っています。

③防災対策

大規模災害時に、三重県側と奈良県側の沿線エリア(国、県、市、町、村)の交通確保を行うことが重要と考え、相互に協力できる体制の構築が必要と考えます。加えて、情報発信を沿線エリアを含め可能となるようなシステム作りが重要と考えます。



北勢国道 堀江 所長

①ストック内容

天理IC～五月橋IC間の31.6kmが対象区間で、福住ICより東側は80km/h、西側(Ωカーブ)は60km/hで走行しています。Ωカーブは高低差約270mで、最急勾配6%と構造的な特徴を持っています。

②安全対策の報告

名阪国道は5万台が通行する物流の幹線道路です。設計速度はインター改良等により部分的に設計速度を70kmに引き上げています。旅行速度は、Ωカーブ区間周辺では速度低下がみられるものの、休日の一部の時間帯を除いて概ね60km/h以上となっています。

安全対策向上策として、すべり止め舗装、視線誘導施設、特殊車両の自動計測システムを設置し、交通事故対策の推進を進めています。



奈良国道 若尾 将徳

■名阪国道の速度アップ、安全対策の報告

全国の自動車専用道路の中で死亡事故率が全国NO.1です。

事故抑止対策は、強力な取締まり、啓発活動として、夏の交通安全県民運動として三重県高速道路交通安全協議会と協力して道の駅「いが」及び針テラスにおいて、交通安全キャンペーンを実施しています。

走行速度については60km/hとしていましたが、車両の性能の向上等により、昨年、部分的に70km/hに引き上げています。現在の所、速度アップは考えていませんが、道路形状等の変更がある場合は速度アップを考えます。

一般者の立ち入りが多い道路で危険なため、自動車専用道路であることの地域住民の啓発活動を行っていききたい。



三重県警浦川隊長

■名阪国道の速度アップ、安全対策の報告

3560件の事故の内、約半分の事故がΩカーブに集中しています。

反対車線への逸脱による重大事故が多く発生していました。中央分離帯を強固なものとし、舗装のスリップ抑制する等により重大事故は発生していません。道路構造の強化、改良が限界にきたように思います。それらに対応するため、事故抑止対策として、パトカーをペースカーとして速度抑制を実施する対策の試みを行っています。

対策効果の向上が見られないので、本日の会議で事故抑制のためのヒントが得られればと考えます。



奈良県警田中副隊長

■今後の期待

現在の県内のストック効果をアピールするのが重要な仕事です。県境を越えたストック効果考えることで、アピールしていきたいと考えます。貴重な情報を頂いて参考にしていきます。



三重県梅谷課長

■今後の期待

名阪国道は、地域の発展を支えて来た道路と感じました。

更に発展する要素として、京奈和自動車道と西名阪が繋がりと、和歌山県と三重県が繋がります。地域間を超えたストック効果を考えていきたいと思います。ますます、広域的に、三重、奈良、和歌山と繋がっていききたいと考えます。



奈良県森本政策官

○平成27年11月13日(金)、名阪国道開通50周年記念事業の一環として、名阪国道開通50周年記念事業実行委員会主催で、名阪国道に関係するOBの方々による「車座名阪国道トーク」が開催されました。

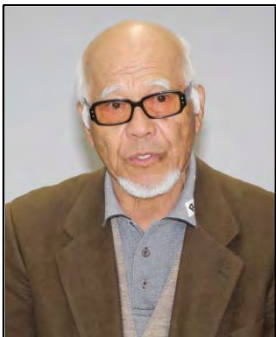
○奈良国道の若尾所長、北勢国道の堀江所長をインタビューアとして、当時の名阪国道建設工事に関する様々な出来事について、当時の行政関係者から今しか伝えられない苦労話やエピソードなどを回顧、懇談していただく企画です。“1000日間で開通させる”という目標に向かって、様々な側面からお話を伺うことが出来、有意義な会議となりました。

概要

◇日 時：平成27年11月13日(金曜日) 13:30～ 15:00

◇場 所：山添村ふるさとセンター

◇出席者等：伊賀市(旧上野市)OB 中出 由一
：亀山市(旧関町) OB 黒田 力男
：山添村 OB 今本佐久男
：北勢国道事務所 OB 尾関 宏一
：奈良国道事務所 OB 玉置 稔
：奈良国道事務所 OB 渡邊 郁夫
：(国交省) 北勢国道堀江所長、奈良国道若尾所長
：名阪国道開通50周年記念事業実行委員(植田誠輝副委員長(山添村)を含む委員)



中出由一(伊賀市OB)

当時の職務

上野市役所土木課

名阪国道との関わり

地域の方への工事説明や用地交渉などの地域との折衝

名阪国道の工事用道路などの周辺事業

都市計画道路として名阪から広域をつなぐアクセス道路の整備

名阪国道の4車線化事業及び開通式典

■過去を振り返って

①苦労した点：名阪国道の工事用道路の用地確保のために、朝晩問わず用地交渉に奔走しました。

②開通式典では：700人程度招待し、上野高校体育館で盛大に行われました。

■現在の状況

①現在の名阪国道の交通需要：伊賀市は、中京と近畿の中心であり、名阪国道によって、物流の変革により、企業が活性化しました。当時、都市計画決定を行って、工事がし易いように、市街地の外枠に造った事が活かされていると感じました。

②日々進化する現在の名阪国道：無料であり、2kmに近いインターがあり、周辺住民にとっては便利の良い道路です。

③名阪国道の整備効果：名阪国道が無かったら、伊賀市は孤立化していたと思います。

■そして未来へ

新名神開通により、交通量を減らすことによって、事故の発生リスクの低減が図れないかと考えています。この地域は、リニアや新名神の話がありますが、更なる地方の活性化のため推進して頂きたいと考えます。



黒田力男(亀山市OB)

当時の職務

関町役場産業土木課

名阪国道との関わり

名阪国道の工事用道路に関する用地測量

■過去を振り返って

①苦労した点：工事が始まってから、地元の理解があったため苦労はありませんでした。ICを作りたいという、地元の期待に応える為に奔走しました。

■現在の状況

①現在の名阪国道の交通需要：できて暫くは交通量が少なかったですが、東名阪ができてから、交通需要が増し、このように交通量が増えるとは想像できませんでした。一方で、大型車両が増えて重大事故も増えました。

③名阪国道の整備効果：もし、名阪国道が無かったら、結婚していない人が多く出たと思います。名阪国道ができて、交流が生まれ、名古屋、大阪までの移動時間が短縮され、過疎化に歯止めがかかっていると思いました。

■そして未来へ

リフレッシュ工事等の改良の効果があって、渋滞が減ったように思います。制限速度60km/hに抑えることによって、かえって事故が増えるように思います。更なる改良により、制限速度を上げる努力をすべきと考えます。時間が読めるような道路になると良いと思います。



今本佐久男(山添村OB)

当時の職務

大成道路、その後、山添村役場職員

名阪国道との関わり

五月橋～山添橋の区間5.5kmの舗装工事(大成道路)

■過去を振り返って

①苦勞した点：昼夜、舗装プラントを稼働させていたため、周辺への影響が懸念されました。土埃が舞う等の苦情処理の対応に苦勞しました。
③4車線化へ：事故が多く、トラックの横転事故があり、「魔の名阪」と言われる事もありました。

■現在の状況

①現在の名阪国道の交通需要：交通量が約60000台で大型車混入率が40%、夜になると60%になるなど、大型車が多い状況で、名阪国道がなければ、山添市内は、トラック等の排気ガスで大きな環境問題になったのではないかと思います。
③名阪国道の整備効果：山添村では、奈良に40分、上野には20分と利便性が良いです。当初は、過疎が約12%(S40)と深刻な問題でしたが、名阪国道が出来てから9.8%となり過疎化の勢いが緩和しました。

■そして未来へ

山間部では、積雪の際に交通がストップされ、現道に回ります。知っているものは良いが、知らないものは困ってしまいます。何とか名阪国道を止めないような知恵がないかと考えています。



尾関宏一(北勢国OB)

当時の職務

建設省名阪国道工事事務所調査課計画係長

名阪国道との関わり

名阪国道の路線の選定、設計・施工・開通管理の充実・効率化の必要性からモニター化を図り、光ファイバーの埋設・ITVの設置を開始

■過去を振り返って

①苦勞した点：1000日の目標に対して、直ちに事業着手を行う必要がありましたが、山の中なので何も無い状態でした。変電所や生コンプラントを事前に設置しました。また、工事の重機確保に重点を置き準備を行いました。

②開通式典では：寒波が来た為、設置したテントが飛ばされ苦い経験をしました。また、開通式ぎりぎりまで工事を行っていたのを覚えています。あのころの感覚では、国道の通行止めは考えられませんでした。開通日当日夜に凍結防止剤を手撒きで行っていた覚えがあります。

■そして未来へ

有る意味、名阪の使命は終わったのではないかと、通常50年となれば更新時期となるのではないかと考えさせられますが、使用して行かなければなりません。現役世代には、知恵を絞って、スマート化を図って欲しいと思います。

名阪国道は利便性が良いが、現在では、減速車線長の不足等の問題があります。当初そうせざるを負えませんでした。管理者の立場として、現役世代で改善を図って欲しいと思います。



玉置稔(奈良国OB)

当時の職務

建設省大和高田国道工事事務所

名阪国道との関わり

路線測量監督・工事監督、名阪国道の管理・名阪リフレッシュ事業に関わる。

■過去を振り返って

①苦勞した点：測量は、現在のような高度な測量機械はなく、計算尺とスタジア(視距)測量で行いました。何もない、山の中での作業にも関わらず当時の測量技術の精度が高いことに感心した記憶があります。

工事の際に地域住民の方々がとても協力的であった思い出があります。特に、冬場は氷が張る程の寒さで、風防設備の設置できない水路や擁壁等の現場打ちコンクリート構造物の養生に苦勞しました。

②開通式典では：大臣が乗った車両が通過するまで、警備員として式典に参加。寒波がひどく大変でした。

当初の事務所長が、開通の当日朝早く、舗装工事ができているかどうか心配され、現場確認していたことを、今でも思い出します。そういう意味でも1000日で完成するということは大変だったと思います。

■そして未来へ

道路の管理は高速道路と同等の水準で行うべきと考えます。名阪国道は走行速度が高く、走り安くなった分、水準を上げて管理すべきと考えます。



渡邊郁夫(奈良国OB)

当時の職務

建設省近畿地方建設局道路計画課係員

名阪国道との関わり

建設省の道路計画課係員として、路線選定の初期段階に関わり、名阪リフレッシュの計画立ち上げも担当した。

■過去を振り返って

①苦勞した点：当時計画段階で、道路線形を引くよう指示を受けました。平面線形ではトンネルはやめる方針で、天理からどのような縦断計画(勾配)を行うか苦勞しました。一度出来あがった段階で、橋梁部での勾配が大きいと指摘され、やり直した覚えがあります。積雪等を考慮し、できるだけ緩い勾配で行いました。若い時に計画したものが、そのまま、現実になると言う事は、恐ろしいものだと思います。

③4車線化へ：京都にいた際には、奈良のΩカーブと呼ばれていたのを聞いて、有る意味、知名度が高いんだなと思いました。4車線化により交通量が増えて、事故が多くなりました。

■そして未来へ

下りの勾配に入った時に走行車線に車両が集中しています。走行車線にもう1つ車線増やすことで、車の密度や車間距離を稼ぐことを提案しましたが、実現できませんでした。これからを考えると、自動車の自動走行が増えていくことが予測されます。1車線を増やす方法も今後は必要となるように思います。

■名阪・北勢会による記念石碑の寄贈(2015年10月27日)

○平成27年10月27日、名阪・北勢会(北勢国道OB会)が、名阪国道の50周年を記念し、名阪国道50周年記念実行委員会に、**石碑を寄贈**しました。(道の駅「いが」)

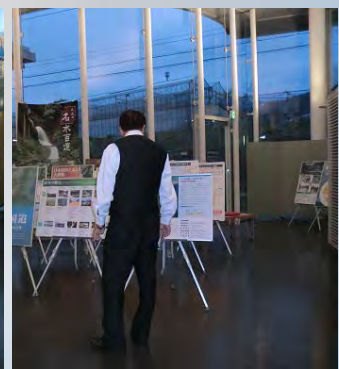
○「**開通50周年にあたり、関係各位を思いここに碑を建て今後の発展を期するもの**」と記され、**今後、更なる名阪のストック効果向上への期待**が込められ石碑が建てられました。



■道の駅「針T・R・S」におけるPR・啓発活動(2015年11月～)

○名阪国道パネル展(2015年11月～)

道の駅「針T・R・S」において、**主に奈良県側を中心とした、パネル展**を実施しています。当時の天理東ICの設置状況や交通事故を減少するために実施された名阪リフレッシュ工事による改良状況等を、**大型パネルで閲覧**できます。



○過積載防止キャンペーン(2015年11月19日)

奈良県過積載防止対策連絡協議会主催のもと、「針T・R・S」において、**過積載防止キャンペーン**が実施されました。「**過積載の禁止**」「**過労運転の防止**」など、**輸送の安全確保、輸送秩序の確立が求められていることを啓発**する品を、立ち寄るドライバーさんたちに配布。**大型トラックの通行により、道路の劣化が進んでいることから、特殊車両の通行に関する指導取締要領が改正されたことを知らせるチラシ**も配りました。

主催)奈良県過積載防止対策連絡協議会

参加)奈良県、奈良県警察本部、奈良国道事務所、近畿運輸局奈良運輸支局、公益法人奈良県トラック協会



○特車取締り(危険物取締り)実施(2015年11月13日)

奈良県警察本部交通部高速道路交通警察隊と奈良国道との合同で開催していますが、道路行政に関係する他の関係機関との連携強化も進め、特車取締りを実施しています。



- ・奈良県警察本部 生活環境課
- ・天理警察署
- ・奈良県広域消防組合 消防本部、奈良県税務課
- ・近畿運輸局奈良運輸支局
- ・近畿地方整備局奈良国道事務所

○三重県内高速道路及び名阪国道の交通事故減少に向けて

年末の交通安全キャンペーンでは、子どもと高齢者の交通事故防止を運動の基本とし、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶を運動の重点に啓蒙活動を実施します。

内容)名阪国道50周年記念パネル展示、啓発物の配布
パトカーの車両展示、飲酒ゴーグルを使用したの飲
酒運転疑似体験

○11月30日(月)11:00～12:00 場所)道の駅「いが」



○沿線企業によるキャンペーンの開催(～11月30日)

名阪関ドライブイン、名阪上野忍者ド
ライブインでは、名阪国道の開通50周
年事業に合わせて、キャンペーンを開
催し、地域を盛り上げています。

名阪国道

開通50周年記念

キャンペーン

名阪関道ドライブイン・名阪上野忍道ドライブインで実施中!!

レストラン 朝・昼・夜

2,000円(税込)以上お買い上げ

ソフトクリーム券1枚!
ジェラート券1枚!

本陣

5,000円(税込)以上のお買い上げ

ソフトクリーム券2枚!

売店 朝・昼・夜

9,000円(税込)以上の額で入会

粗品プレゼント!

10/10 11/30

いつもご利用いただいているお客様、感謝を込めて。

店内デサント			
長良	外張八木	前田3	前田4
穴子ロール定価¥580を 期間中 500円 にて販売	期間中1,000円以上お買い上げで 一律100円引き	3,000円以上お買い上げの方で さきか1パックサービス ※1パック	ウインナー・ミニの両方に ローーストポークに 1個Aセット
1,500円以上お買い上げの方で 金ジョーズ(1頭) サービス	2,000円以上お買い上げの方で 伊勢あまぎ3人入りをプレゼント ※1頭限定		
徳島川口	松竹	徳島の森	徳島
焼肉ランチ+デザート 記念日 570円	1,000円以上お買い上げの方に 割引券のサービス	3,000円以上お買い上げの方で 香る!お肉のたれ 1個サービス	
大衆喫煙ラウンジ ☎050-447-6676 大衆喫煙ラウンジ ☎050-447-6676			

■記念シンポジウム(2015年11月28日)



ふるさと会館 いが



大ホール

国道25号名阪国道は、昭和40年12月16日に開通し、今年12月で50周年を迎えます。これを記念し、これまで50年間、道路として果たしてきた役割や周辺地域へ与えた影響など（ストック効果）を振り返るとともに、これからはより効果的に活用するために、取り組むべき課題などを議論し、この地域の活性化と地域振興を支える方策について探ります。

2015年11月28日(土)
10:30～12:30(開場:10:00)

事業報告

名阪国道開通50周年記念事業内容の報告

基調講演

◆「名阪国道による地域の活性化について」
名城大学 教授 松本 幸正 氏

パネルディスカッション

◆テーマ「名阪国道のこれまでとその未来」
コーディネーター：名城大学教授 松本 幸正 氏
パネリスト：(株)安永 顧問 浅井 裕久 氏
(株)交通新聞社 中村 直美 氏
(一財)南都経済研究所 山城 満 氏
亀山市長 櫻井 義之 氏
奈良国道事務所長 若尾 将徳 氏

会場

ふるさと会館 いが
大ホール(定員600名)

コーディネーター



松本教授

名城大学 理工学部 社会基盤
デザイン工学科 教授

1991年名古屋工業大学大学院博士前期課程終了、
1998年ロンドン大学UCL交通研究所客員研究員、
2007年名城大学理工学部助手、講師、助教授を経て現職
専門分野：交通工学、交通計画、都市計画

パネリスト



(株)安永 浅井顧問



(株)交通新聞社
中村第2出版事業部長



(一財)南都経済研究所
山城主席研究員



亀山市 櫻井市長



奈良国道若尾事務所長

■主催：名阪国道開通50周年記念事業実行委員会

伊賀市、亀山市、奈良市、天理市、山添村、国土交通省北勢国道事務所、国土交通省奈良国道事務所、三重県県土整備部道路企画課、伊賀建設事務所、鈴鹿建設事務所、奈良県県土マネジメント部道路建設課、奈良土木事務所、三重県警察本部交通部高速道路交通警察隊、奈良県警察本部交通部高速道路交通警察隊三交興業(株)、三重県高速道路交通安全協議会、(一社)中部地域づくり協会

